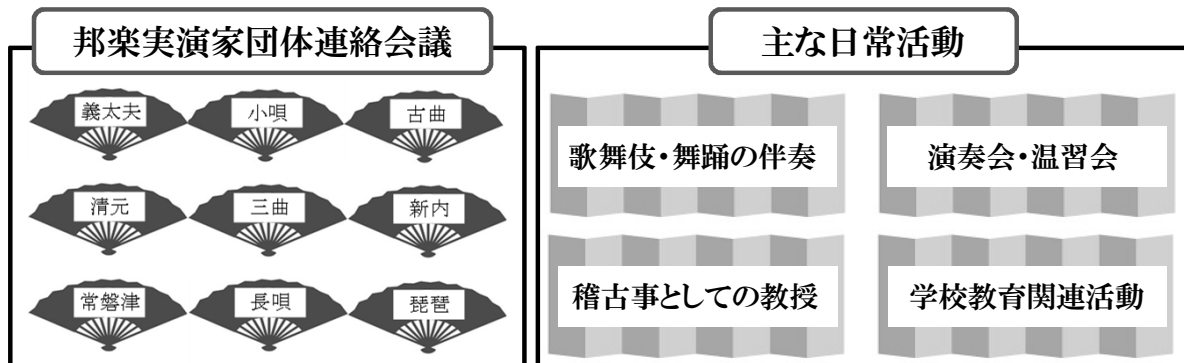


文化芸術推進基本計画の策定に向けた意見

邦楽実演家団体連絡会議



現状

- 愛好家の高齢化、減少傾向
- プロの高齢化、後継者不足
- プロの活躍の場の減少
- テレビ・ラジオを通じた鑑賞機会の減少
- 楽器製作者の減少、素材調達の困難
- 地域における鑑賞機会の減少

衰退傾向に歯止めがかからない

基本法・基本計画への期待

+

文化芸術の継承・発展・創造に向けた文化芸術団体としての役割認識

《目標設定に対する意見》

中長期的な視点から定められた四つの目標⇒邦楽団体にとって高く評価される

- ・文化芸術の次世代への継承⇒今後の学校教育活動等へのインセンティブとなる
- ・地域の文化芸術推進のプラットフォーム⇒連携強化へのインセンティブとなる

《戦略検討に対する補足的な意見、要望》

戦略1 文化芸術に対する効果的な投資とイノベーションの実現

- ・邦楽の活用によるユニークベニューの魅力アップなど多面的な役割発揮を期待
- ・三味線の皮、撥の新素材開発を国家戦略として位置づけ、独自産業育成へ

戦略2 国際文化交流・協力の推進と文化芸術を通じた相互理解・国家ブランディングへの貢献

- ・海外における邦楽の認知・評価状況の把握と効果的な政策立案
- ・国内イベントのPR強化によるインバウンド推進に向けた関係者の連携

戦略3 多様な価値観の形成と包摂的環境の推進による社会的価値の醸成

- ・子供達の鑑賞、体験活動の充実に向けた現状把握と既存施策の活用

戦略4 文化芸術の創造・発展・継承と豊かな文化芸術教育の充実

- ・文化芸術団体の機能強化に向けた財政的な支援
- ・新学習指導要領(音楽)の実施に向けた実効性のある対策の提示と推進

戦略5 多様で高い能力を有する専門的人材の確保・育成

- ・楽器製作者、舞台裏方等に対する社会的評価向上に向けた施策検討

戦略6 地域の文化芸術を推進するプラットフォームの形成

- ・劇場、ホールと芸術団体との連携推進に向けた自治体の役割に期待